

第 71 回国民体育大会強化委員会基本計画

I 基本方針

東日本大震災津波災害からの復興のシンボルとなる大会として位置づけて開催する第 71 回国民体育大会において、本県選手が活躍し、県民に勇気と活力を与えるとともに、国体開催を契機に継続した高い競技力の維持・向上を目指す。

そのために、県及び市町村をはじめ、県民・企業・団体等と緊密な連携を図り、県内関係者が一丸となった「チーム岩手」の体制を確立する。また、「組織の拡充・強化」、「指導体制の確立」、「選手の育成・強化」、「サポート体制の整備・充実」を強化事業の柱に据え、「希望郷いわて」にふさわしい選手の育成と強化を推進する。

II 推進基本施策

1 組織の拡充・強化

(1) 各競技団体の組織体制の充実

ア 選手強化のためのリーダーの養成

イ 競技団体の活動力の強化

(2) 各競技団体、市町村、学校体育団体、大学及び企業等の関係団体・機関との連携・協力の促進

(3) スポーツ支援組織の確立（産業経済界との連携）

2 指導体制の確立

(1) 優秀指導者の確保と適正配置

(2) ハイレベルな指導者の養成

(3) 一貫指導体制の充実

3 選手の育成・強化

(1) 素質あるジュニア選手の発掘・育成（関係機関・各競技団体等との連携）

(2) 国体候補選手、チームの国体強化指定等による重点強化

4 サポート体制の拡充

(1) スポーツ医・科学サポートスタッフの養成

(2) スポーツ医・科学サポートプログラムの研究や開発

(3) スポーツ医・科学センターの検討

第71回国民体育大会強化委員会 選手強化年次計画			年度	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年～		
			年(残年数)	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年	国体開催後		
推進基本施策			国体開催地	岐阜県	東京都	長崎県	和歌山県	岩手県			
			期	育成期			飛躍期				
大項目			目標順位(天皇杯)	30位台	30位台	20位台	10位台	8位以内入賞	10位台		
			中項目	推進項目	事業名	重点項目 ●ジュニア・成年選手強化の充実 ●一貫指導体制の充実 ●指導者の資質向上 ●支援体制の充実			重点項目 ●選手強化拡充 ●一貫指導体制の完成 ●指導者の資質向上 ●支援体制の拡充		
1. 組織の拡充・強化	各競技団体の組織強化	各競技団体の組織体制の充実	国体担当者・ヘッドコーチ合同会議					→			
	関係団体との連携	競技団体、市町村、学校、体育団体 大学、企業等との連携	中高指導者連携協議会 各競技団体とのヒアリング コーチ会議 スポーツの支援体制の整備・充実 会場地市町村との連携 競技団体、学校教育団体、大学企業等との連携		→				----->		
2. 指導体制の確立	指導者の養成・確保	優秀指導者の確保	Uターン・Iターン・Jターンの促進						----->		
		アドバイザーコーチの活用 優秀指導者セミナーの開催 指導者の県外研修	指導者スキルアップ事業 コーチ派遣事業 一貫指導システム構築事業 女子強化プロジェクト会議						----->		
		学校、地域拠点への配置・派遣	指導スタッフの適性配置計画の推進		→						
		各競技団体のジュニア選手発掘支援	ジュニア選手の発掘						----->		
3. 選手の育成・強化	選手の育成・強化	国体強化選手に対する 強化練習・合宿・遠征等の実施	ジュニア選手強化事業(中・高校生) 国体強化選手の指定 トップ選手強化事業(成年) 国体強化選手の指定					→	----->		
		重点競技の選手強化 (強化指定チーム等)	強化指定クラブ支援(少年) 国体拠点校の指定 強化指定クラブ支援(成年) 国体拠点クラブの指定 重点競技強化事業					→	----->		
		雇用環境の整備促進	Uターン・Iターン・Jターンの促進					→			
		ふるさと選手登録の拡充	ふるさと選手登録の拡充【調査・研究】					→			
		【スポーツ健康科学サポート事業との連携】									
		4. サポート体制の 整備・充実	スポーツ医・科学 サポート体制の拡充	スポーツ医・科学サポートの充実	いわてアスレティックトレーナー養成事業 いわてアスレティックトレーナーの大会派遣 スポーツ医・科学サポート事業 スポーツ医・科学データ活用			→			----->
				医・科学サポートプログラムの 普及・啓発	トレーニングプログラムの研究・開発等						----->
				スポーツ医・科学センターの検討	スポーツ医科学センターの整備検討・整備推進						----->